



福岡医発第 2089 号 (地)
平成 21 年 1 月 9 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会長 横 倉 義 武
(公 印 省 略)

第 22 回医療技術者セミナーについて

福岡県医療団体協議会より、本会に対して『第 22 回医療技術者セミナー』の後援依頼があり、平成 20 年 12 月 11 日の全理事会で協議の結果、名義後援することを了承いたしました。

本セミナーは、県民のための医療セミナーとして毎年開催されており、今回は、福岡県で死亡率の高い肝臓がんについて、メインテーマを「肝臓がんの最新治療」とし、特別講演と福岡県医療団体協議会を構成する（社）福岡県放射線技師会、（社）福岡県臨床衛生検査技師会、（社）福岡県看護協会、（社）福岡県栄養士会の各団体によるシンポジウムが行われます。

つきましては、福岡県医療団体協議会より別紙のとおり案内が送られてまいりましたので貴会会員への周知方よろしくお願い申し上げます。

なお、参加費につきましては、一般参加者は無料、福岡県医療団体協議会を構成する各団体会員のみ 500 円を受付にて徴収されます。

記

日時：平成 21 年 2 月 21 日（土）

13：30～16：30（受付 13：00 より）

会場：ナースプラザ福岡 1 階 研修ホール

平成 20 年 12 月 25 日

社団法人福岡県医師会

会長 横倉 義武 様

福岡県医療団体協議会

会長 神坂 登世子

謹啓 貴職におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。また平素より当会活動に対し、格別のご高配を賜り深く感謝申し上げます。

さてこの度、名義後援のご承諾をいただきました第 22 回医療技術者セミナーの抄録「協議会ニュース」が出来上がりましたので、お届けいたします。
よろしくお取り計らいいただきますようお願いいたします。

敬白



第 22 回 医療技術者セミナーのご案内

ー セミナーの開催にあたってー

2006 年がん対策基本法が成立し、昨年国の基本計画が策定され、目標を「10 年間でがん死亡の 20%減」、「全てのがん患者・家族の苦痛の軽減・療養生活の質の向上」としています。福岡県においても、がん拠点病院の整備がなされ、相談支援などと共に予防のための検診推進や治療の標準化など、具体的ながん対策が推進されております。今回福岡県医療団体協議会では、当県で死亡率の高い肝臓がんについてセミナーを開催することに致しました。メインテーマは「肝臓がんの最新治療」とし、特別講演を「肝細胞癌の予防と治療」ということで高橋和弘先生(浜の町病院肝臓病科部長)にご講演いただきます。またシンポジウムでは、各団体から肝臓がんの最新の知見を得て、地域住民と共に予防を含めた対応策について考えてまいります。どうぞ多くの皆様方の参加をお待ちしております。

福岡県医療団体協議会 会長 神坂 登世子

※ プログラム ※

《メインテーマ》『肝臓がんの最新治療』

日 時 平成 21 年 2 月 21 日 (土) 13:30~16:30 (受付 13:00 より)

会 場 ナースプラザ福岡 1 階 研修ホール

後 援 福岡県・福岡市・福岡県医師会

1. 会 長 換 拶 13:30 福岡県医療団体協議会 会長 神坂 登世子

2. 特 別 講 演 13:40~14:40

演 題『肝細胞癌の予防と治療』

講 師 浜の町病院 肝臓内科部長 高橋 和弘 先生

座 長 福岡県医療団体協議会 会長 神坂 登世子

3. シンポジウム 14:50~16:30

テーマ『肝臓がんの最新治療』

座 長 久留米大学 認定看護師教育センター がん化学療法看護担当 専任教員 徳永 智恵美

◆ 肝炎ウイルスと肝臓

【臨床検査技師会】藤野 達也 (国立病院機構九州医療センター 臨床検査部)

◆ 肝臓がんの診断と治療について ~最新 MR 造影剤プリモビストによる診断~

【放射線技師会】利根 輝紀 (公立八女総合病院 技術部 診療放射線)

◆ 肝臓がんの肝動注化学療法と看護、緩和医療を考える

【看護協会】江藤 聖子 (九州大学病院 看護部 がん化学療法看護認定看護師)

◆ 肝臓にやさしい栄養療法

【栄養士会】大塚 百香 (久留米大学病院 栄養部)

※ 事前申込の必要はありません。参加費 500 円を受付でお支払いください。

特 別 講 演

『肝細胞癌の予防と治療』

国家公務員共済組合連合会浜の町病院 肝臓病科 高橋 和弘 先生

癌死亡者のうち肝細胞癌は、全国的には、肺癌、胃癌、大腸癌について 4 位であるが、福岡県では、肺癌について 2 位であり大きな問題となっている。これは肝炎罹患率が他県に比べて高いことが原因である。肝細胞癌による死亡数を低下させるためには、C 型慢性肝炎患者を減らすことが急務である。日本に多い難治性の C 型肝炎ウイルス 1 型でも、ペグインターフェロン、リパビリン療法により、約 50% で完治するようになった。

肝細胞癌は併存する肝硬変のため、手術可能な症例は限られており、手術可能例でも高率に残肝再発を起し根治が困難である。しかし、画像診断の進歩による早期発見例の増加や、経皮的ラジオ波焼灼療法等の低侵襲な局所療法

の進歩により、短期予後は飛躍的に改善した。また、肝動脈塞栓術や肝動注化学療法等で長期予後も改善しつつある。

このように、肝細胞癌による死亡率を低下させるためには、肝炎の治療と癌の早期発見が大変重要である。

シンポジウム

『肝炎ウイルスと肝臓』

藤野 達也 (国立病院機構九州医療センター 臨床検査部)

わが国の肝細胞癌症例の約 80% は C 型肝炎ウイルス感染、約 15% は B 型肝炎ウイルス感染を有しており、肝細胞癌の実に約 95% は環境的発癌因子であるウイルス感染症に起因しています。したがって、肝炎ウイルス感染の有無を診断することで肝細胞癌発生の高危険度群を識別することが可能であり、重点的に血液検査、画像検査などスクリーニングを行うことによって、高率的に肝細胞癌の早期発見、早期治療を行うことができます。また、肝炎ウイルス感染の防止およびウイルス慢性肝炎の治療によって、肝細胞癌の発生を予防することも可能となっています。今回、これらを踏まえ、わが国での大部分を占める肝細胞癌の発癌因子である C 型肝炎ウイルスを中心にスクリーニングの必要性ならびに具体的な治療方法と臨床検査データとの関連についてお話しさせていただきます。

『肝臓がんの診断と治療について ~最新 MR 造影剤プリモビストによる診断~』

利根 輝紀 (公立八女総合病院 技術部 診療放射線)

肝臓がんの診断は、多くの医療機関において、腫瘍マーカーと超音波診断で、存在診断を行います。放射線診断領域では、存在診断をより確実なものとするため、CT・MRI・血管造影検査を行います。超音波検査でスクリーニングされた病変を、鑑別診断するために、造影剤等を使って画像化し、経時的に観察することで、肝細胞がんの分化度を評価する手法をとっています。最近では MR 造影剤として、肝特異性造影剤 (EOB: プリモビスト注シリンジ) を使用した検査が、多くの医療施設で行われてきています。このように画像診断は、腫瘍の経時的な血流情報による診断から、肝細胞機能による診断への時代を迎えています。また、血管造影下での IVR は、手術適応外の患者様への治療の選択肢として、リザーバー等を用いた反復肝動脈動注療法が行われています。

当日は、各画像診断装置の画像と役割・最新 MR 造影剤プリモビスト・IVR について、ご紹介いたします。

『肝臓がんの肝動注化学療法と看護、緩和医療を考える』

江藤 聖子 (九州大学病院 看護部 がん化学療法看護認定看護師)

肝臓がんは、肝機能が良好で腫瘍数が 2~3 個であれば外科的切除が基本です。しかし、肝臓がんは発見された時点ですでに進行していることが多く、また、再発・転移をしやすいがんでもあることから、穿刺療法 (エタノール注入療法、ラジオ波焼灼療法)、経動脈的治療 (肝動脈塞栓・動注化学療法) や最近では肝移植なども選択肢にあります。

このように肝臓がんの治療法は多様ですが、今回は肝動脈塞栓・動注化学療法の術前・術後の看護を紹介させて頂きます。また、肝臓がんは化学療法の効果が乏しいという実状をふまえ、その治療を継続していく患者を看る看護師としての心構え、患者心理の理解、そして緩和医療のあり方について皆さんとともに考えていきたいと思います。

『肝臓にやさしい栄養療法』

大塚 百香 (久留米大学病院 栄養部)

近年、肝臓病における栄養療法は肝硬変の進展や合併症の発生に関わるだけでなく、寿命にも大きく左右することが明らかになってきました。また肥満や血糖能異常を合併している場合は、肝臓の発症や死亡率を高めるという報告もあります。つまり、肝臓予防には肥満や血糖能異常を予防するために毎日の食事の中で何をどのくらい食べるかが非常に大切ということです。特に C 型肝炎の方は食事の鉄量には注意が必要です。毎日の食事に加えて、最近注目されているのは、BCAA (分岐鎖アミノ酸) の補充と LES (就寝前補食) です。肝臓が悪くなると筋肉で BCAA が消費されてしまうため補充が必要になります。そして、肝硬変の方は健康人に比べると、夜間から早朝にかけて飢餓状態に陥りやすくなるため、寝る前に 200kcal 程度のものを補給すると飢餓状態を予防でき肝臓の働きがよくなると言われており、この事を LES と言います。本日は、肝臓をいたわる毎日の食事と BCAA、LES についてお話させていただきます。

健康 セミナー

肝臓がんの最新治療

《日 時》 平成21年2月21日(土) 13:30～16:30(受付 13:00 より)

《会 場》 ナースプラザ福岡 1階 研修ホール(地下鉄 箱崎宮前 2番出口より徒歩2分)

I 特別講演 13:40 ～ 14:40

『肝細胞癌の予防と治療』

講 師 高橋 和弘 先生 (浜の町病院 肝臓内科部長)

座 長 福岡県医療団体協議会 会長 神坂 登世子

II シンポジウム 14:50～16:30 『肝臓がんの最新治療』

座 長 久留米大学 認定看護師教育センター がん化学療法看護担当 専任教員 徳永 智恵美

1. 肝炎ウイルスと肝癌

藤 野 達 也 【臨床検査技師会】

2. 肝臓がんの診断と治療について ～最新MR造影剤プリモビストによる診断～

利 根 輝 紀 【放射線技師会】

3. 肝臓がんの肝動注化学療法と看護、緩和医療を考える

江 藤 聖 子 【看護協会】

4. 肝臓にやさしい栄養療法

大 塚 百 香 【栄養士会】

* 市民の方は参加費無料

* 会員は参加費 500 円

お問合せは 福岡県医療団体協議会事務局

TEL : 092-631-1141



《主 催》 福岡県医療団体協議会

《後 援》 福岡県・福岡市・福岡県医師会